

艦 令 抜 萃 (大正三年十一月三十日軍令海防第十号)

第二條 艦隊ハ必要ニ應シ之ヲ戰隊ニ區分ス

戰隊ハ軍艦二隻以上ヲ以テ軍艦及驅逐潛水隊輸送隊驅逐艦二隻以上潛水艦二隻以上砲艦二隻以上海防艦二隻以上輸送艦二隻以上若ハ航空隊ヲ以テ軍艦以外ノ此等ノ一部ヲ以テ又ハ航空隊三隊以上ヲ以テ之ヲ編成ス、但シ主トシテ航空母艦、水上機母艦、航空隊驅逐隊、警水隊、砲艦隊、海防隊、輸送隊、驅逐潛水艦、輸送艦等ヲ以テ編成スルトキハ之ヲ航空戰隊、水雷戰隊、潛水戰隊、輸送戰隊等ト稱スルヲ例トス

戰隊ニハ必要ニ應シ水雷隊、掃海隊、驅潛隊、警備隊等ヲ編入シ艦船ヲ附屬ス

戰隊ハ編成ニ因リ之ヲ第一戰隊、第二航空戰隊、第三水雷戰隊、第四潛水戰隊、第五輸送戰隊等ト稱ス

第四條 聯合艦隊ニ司令長官ヲ置ク

艦隊ニ司令長官又ハ司令官ヲ置ク

戦隊ニ司令官ヲ置ク但シ第三十條ノ場合ニ於テハ之ヲ置カサルコトヲ得、聯合艦隊司令長官、艦隊司令長官及獨立艦隊司令官ハ新補トス

第十條 聯合艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ聯合艦隊ヲ統率シ之ニ關スル隊務ヲ統督ス、聯合艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第十一條 艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ麾下ノ艦隊ヲ統率シ隊務ヲ總理ス、艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第三十一條 聯合艦隊ニ屬スル艦隊司令長官又ハ獨立艦隊司令官ハ聯合艦隊司

令長官ノ指揮ヲ承ク

第三十二條 艦隊司令長官ノ職責中統率ニ關スル事項ハ之ヲ聯合艦隊司令長官ニ準用ス

第三十三條 獨立艦隊司令官ハ

天皇ニ直隸シ其ノ職權ニ付テハ艦隊司令長官ニ關スル規定ヲ準用ス、

第三十四條 戰隊司令官ハ艦隊司令長官ニ隸シ麾下戰隊又ハ其ノ一部ヲ指揮統率シ第十二條第十六條乃至第十九條第二十六條及第二十七條ノ規定ニ準シ服務ス

聯合艦隊司令長官又ハ艦隊司令長官ノ直率スル戰隊ノ司令官ハ司令長官ノ命スル所ニ依リ服務ス

文書ノ出所並ニ成立ニ關スル證明書

(三號)

自分吉井道敷ハ復員廳第二復員局文書課長ノ職ニ居ル者ナル處茲ニ添
附セラレタル日本語ニ依ツテ書カレ三頁ヨリ成ル檢隊令抜萃ト題スル
書讀ハ日本政府(復員廳第二復員局)ノ保管ニ係ル公文書ノ抜萃ノ正
確ニシテ眞實ナル寫シナルコトヲ證明ス

昭和二十二年五月十九日 於東京

吉井道敷

右署名捺印ハ自分ノ西前ニ於テ爲サレタリ

同日於同所

立會人 宗宮信次